

【エクアドル内政・外交：2009年11月】

1. 概要

- 11月 3日 第二回エクアドル=コロンビア外相会合
- 9日 エクアドル=米国二国間協議
- 23日 アンドレス・テラン・エクアドル臨時代理大使がコロンビアに着任
- 24日 コレア大統領、賈慶林 中国全国人民政治協商会議主席と会談
- 25日 報道法案に反対する大規模な抗議集会
南米諸国連合外相・国防大臣会合

2. 内政

(1) 報道法案に対する抗議活動

25日、グアヤキルで報道法案に反対する大規模な抗議集会が行われた。元ニュースキャスターのカルロス・ベラ氏がグアヤキルで報道法案に反対する抗議集会を開き、同法及び高等教育機関法案に反対する市民・学生等約 1,500 名が参加した。

ベラ氏は、報道法案を「猿ぐつわ法(報道関係者に対する締め付けを行う法)」と叫び、同法案の廃止を訴えるとともに大統領罷免のため必要とされる 394 万 5 千名の署名を来年 8 月までに集めるよう呼びかけた(当館注:選挙に登録している 15% 以上の国民の署名が集まれば、大統領を罷免することができると憲法で規定されている)

3. 外交

(1) 南米諸国連合外相・国防大臣会合

25日～27日、当国で南米諸国連合(UNASUR)外相・国防大臣会合が開催された。

25日に事務会合、26日に国防大臣、外務副大臣会合、27日に外相会合が開催され、去る 9 月にアルゼンチンで開かれた首脳会合で決定された任務を遂行し、南米を平和の地域として強化する決定を重ねて強調した。

(2) コロンビア関係

3日、当国コタカチ市にて第二回エクアドル=コロンビア外相会合が行われた。会合にはファルコニ・エクアドル外相、ベルムデス・コロンビア外相、カルバハル・エクアドル国内対外安全調整大臣、ポンセ・エクアドル国防大臣、シルバ・コロンビア国防大臣のほか、インスルサ米州機構(OEA)事務総長、マッコイ・カーターセンター代表が参加した。国境に関する二国間委員会を両国国防大臣のもと再開し、近日中にコロンビアで会合を開き、15日までに臨時代理大使をそれぞれ任命すると合意した。

23日、アンドレス・テラン・エクアドル臨時代理大使がコロンビアに着任した。20ヶ月振りの外交関係再開である。テラン臨時代理大使は、在ウルグアイ公使、ラテンアメリカ統合連盟(ALADI)エクアドル代表代理等を務めた。

(3) 米国関係

9日～10日、エクアドル=米国二国間協議がワシントン DC で開催され、治安・移民・貿易・投資・国際協力・技術協力について協議された。エクアドル側はオルベ外務省二国間担当次官、米側はシャノン国務次官補が団長を務めた。エクアドル側は 21 名、米側は 25 名出席した。会合では、上記テーマにつき建設的なアジェンダを作成し、お互いが問題解決のための必要な措置をとることで一致した。また、本会合にあわせ 11 年前に設立された米・エクアドル貿

易・投資評議会(CCI)の会合が初めて開催された。

二国間協議において、エクアドル側は米に対し、油田開発に替わる環境保全プロジェクト「Yasuni-ITT」と政府が実施している難民支援プログラムへの支援を求めた。また、米が麻薬対策に協力している国(エクアドル、ペルー、コロンビア)に対して与えている特惠関税の延長(アンデス貿易促進・麻薬根絶法(ATRDEA))を求めた。

(4)ベルギー関係

26～27日、コリア大統領はベルギーを公式訪問し、アルベール2世、EU大統領に選出されたファンロンパウ首相、議員、企業家、ベルギー在住エクアドル人と会談した。また、エクアドルはEU加盟国では初めて同国と移民協定に署名した。更にロバイナ・カトリック大学とSENACYTとの科学技術に関する協力協定の署名を行った他、王立 EGMONT 国際関係研究所で講演した。

(5)中国関係

(イ)経済協力融資協定締結

24日、コリア大統領は当国訪問中の賈慶林(JiaQinglin)中国共産党中央政治局常務委員兼 全国人民政治協商会議主席と会談した。同会談では二国間関係の強化、コカ・コード水力発電所建設計画、プヨ病院建設計画につき話し合った。賈慶林全国政協主席の外遊には4名の中国政府高官が随行していた。

エクアドル政府は中国政府と経済協力及び融資協定の三案件(総額約 5260 万ドル)を締結した。

(i) 将来の経済協力案件に使用 : 146.5 万ドル無償供与

(ii) 経済技術協力協定 : 293 万ドル融資:期間 10 年間、

(iii) エクアドル空軍(FAE)の戦闘機 4 機購入のための枠組み協定 : 4,920 万ドル

(6)アンゴラ関係

5日、大統領府に於いて、ピント非再生天然資源大臣は当国訪問中のボテルホ(Jose Maria Botelho de Vasconcelos)アンゴラ共和国石油大臣兼石油輸出国機構(OPEC)議長と会談し、石油事業に関する二国間関係強化に向けた趣意書を取り交わした。

※以上は、当地新聞情報をとりまとめたものです。